

工場見学会

古河産機システムズ 小山工場

2023年9月1日(金)、古河機械金属株式会社の事業子会社である、古河産機システムズ株式会社小山工場(栃木県小山市)を、奨学生14名、事務局3名の、合計17名で訪問しました。

工場見学会は、2019年を最後に、新型コロナの影響により中止を余儀なくされていましたが、今年は4年ぶりに実施することができました。当日は朝から好天に恵まれ、気温は33℃まで上がりました。

9:00 古河三水会会議室
(常盤橋タワー)出発

11:00 蔵の街遊覧船 見学
栃木市の巴波川(うずまがわ)を「蔵の街遊覧船」に乗って遊覧しました。
酷暑の中でしたが、栃木の歴史と情緒を味わうことができました。

12:00 昼食(創業100年の洋食レストラン赤城亭)

13:00 古河産機システムズ株式会社小山工場 見学

2年前に完成した総合事務棟にご案内いただき、生産本部長のご挨拶の後、管理部の方から工場の概要についてレクチャーを受けました。

続いて、生産本部製造部長をはじめとする皆様に、以下のとおり、工場内をご案内いただきました。

- 各種ポンプの製造工程
- SICON(密閉式吊下げ型ベルトコンベア)のデモ機稼働
- 鉄鋼工場の作業行程
- 車載専用型キャリア見学・操作
- 道路高架橋の仮組立て現場

最後の質疑応答では、奨学生の皆さんから積極的な質問がなされましたが、それにもひとつひとつ丁寧にお答えいただきました。

17:00 常盤橋タワー 到着、解散

古河産機システムズ株式会社小山工場の皆様、お忙しい中丁寧にご対応いただき、本当にありがとうございました。

工場見学会感想文

東京大学
工学部
化学生命工学科 4年

私の専門分野は生物学なので今回の工場見学はとても新鮮で面白かったです。

インフラ系の事業に関する知見が増え、これから街を見る際の解像度も向上したと思います。例えば、コンベアの種類で平コンベアとジーコンがあり、高速道路での工事で生じた瓦礫や大雨による氾濫対策で川の下流に地下貯水池を作る際に生じる瓦礫を運ぶ際は静かで三次元的な移動が容易なジーコンを使用することや、車を運ぶキャリアカーはラジコンで簡単に操作できることなど、教科書では学べないような現場の様子を知ることができました。

仕事に対する向かい方も勉強になりました。真面目に真摯に向き合い続けることで信頼が得られ、大事な仕事を任せられ、世の中に大きく貢献できるのだと実感しました。また、インフラ系で歴史の長い大手企業にとっては特に難しいことだと思っていたのですが、安定的な事業を行なっていることに甘んじず、DXを推進するなど、向上心を持ち続けて事業を成長し続けている様子には感銘を受けました。

自分の専門分野に限らず工場見学では教科書では学べないような現場の様子を知ることができました。このような機会を設けていただきありがとうございます。これからも積極的に参加したいと思います。

東京工業大学大学院
材料系材料コース
修士 2年

この度は工場内の見学とその説明という貴重な機会を頂き有難う御座いました。工場見学の中で特に印象に残った点が二つあります。一つ目は設計から製品完成まで自社で行なっており、実際に動いている完成品を見た

際に非常に感動いたしました。私は材料分野での研究を行なっており金属材料関係の工場見学は何度か伺っているのですが製品メーカーの見学は初めてでした。設計から行なっているということから出てくる現場の方の自信に満ちた雰囲気や実際に製品ができてそれが街でどのように使われていくのかを想像したときに非常に心が高鳴りました。二つ目は社員の方々の熱量です。これは私だけでなく一緒に来ていた奨学生も共に感じていました。被災の復興を支えた経験や都心の開発を推進する基盤となるような製品を大きな規模感で送り出していることへの誇りをお会いした社員の方々全員が持っていると感じました。技術の素晴らしさと社員の方々の団結を実際に足を運んでみる事が出来、非常にいい機会となりました。有難うございました。

東京大学大学院
新領域創成科学研究科
先端生命科学専攻
修士 1年

工場見学会では、古河産機システムズ株式会社の小山工場に見学させて頂きました。大学・大学院で専攻している内容が生命科学分野であったことから、産業機械の製造を行っている工場への見学は初めての経験であり、新鮮でした。

小山工場見学で印象に残ったのは、「密閉式吊下げ型コンベヤ SICON」と「橋梁の箱桁」です。「密閉式吊下げ型コンベヤ SICON」については、実際に動いている SICON を見せていただき、その迫力に驚きました。平ベルトコンベヤでは落石や騒音などの問題があるが、SICON については住宅街に近い場所での建設発土の運搬に適し、事故・騒音対策に貢献しているコンベヤでした。今回の見学で、使用場所・使用用途によって、選ぶ産業用機械が違うことを知りました。また、「橋梁の箱桁」については、大きな箱桁が道に長く連なっていて

壮観でした。箱桁の説明では、一度、箱桁同士を繋げてズレがないことを確かめてから、連結を外し、塗装し、目的の地まで運ぶというお話が印象的でした。1ミリのズレが重なると端から端までは数メートル単位のズレになってしまうことから、正確さが求められる技術に感動しました。

また、今回の見学会では、他分野の研究を行っている学生と、日々の研究内容や進路について考えていることなど、様々な事をバス内や昼食時にお話することができ、今後の研究へのモチベーションが向上したため、非常に有意義な時間でした。より一層、研究に励んでいきたいと思いました。最後になりましたが、工場見学会に関わってくださったすべての方々へ心よりお礼申し上げます。

東京大学大学院
情報理工学系研究科数理情報学専攻
修士2年

この度は、工場見学という貴重な機会を頂き、誠にありがとうございます。

自分は、普段研究している専攻が異なることもあり、見学前の時点では産業機械に対するイメージが乏しい状態でした。しかし、実際に工場で作っている部品を数多く拝見して、特殊な硬さの金属を用いた大型機械のパーツや、画期的な筒状ベルトコンベヤのデモ装置、キャリアカーの荷台部分を実際に動かす場面など、多くの具体的なイメージをつかむことが出来ました。

また、見学内容もさることながら、見学中の奨学生からの質問に対する回答なども通して、工場の方々が機械の製作に関して持つ知識や情熱といった部分も、肌で感じる事が出来ました。見学時に作業をしている他の工場の方々もいましたが、皆さん自分のすべき仕事に集中している様子で、これから社会に出ていく自分としては見習うべき姿勢だと感じました。

今回の経験を基に、様々な分野について肌で感じるということのを忘れずに、私も社会への貢献を行っていきたいと思います。

この度は工場見学会を企画いただき誠にありがとうございました。普段見る機会のない貴重な工場現場を拝見できただけでなく、様々な分野で学んでいる奨学生との交流は非常に有意義なものとなりました。産業機械を主に生産している工場ということで、今まで馴染みのない製品が多く新鮮な気持ちで終始拝見いたしました。見学している我々にとっても十分に暑い環境下での作業にもかかわらず、ひたむきに従事し、我々にご挨拶くださる社員の方々の姿が非常に印象的でした。見学前に古河産機システムズの事業概要や、これまでの実績についてご紹介いただきその後に見学を行ったことで、製品の製造現場とそれらが実際に活躍する現場を頭の中でリンクさせながら学ぶことができました。SICONという密閉式のコンベヤが中でも印象的な製品でした。更なる性能向上、課題解決のために要求される技術的新規性を生み出すうえで、古河の持つ長年蓄積されたノウハウが強力な武器であると感じました。また、バスでの移動中や蔵の街での観光、昼食時の奨学生との会話も私にとって非常に有意義でした。自分の専門分野以外の研究の話や、どのような大学生活を送っているかといった話を聞くことで、今後の自分の大学院生活やその後についての考えを深めることができました。改めまして、この度の工場見学会を企画いただき心より感謝申し上げます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

長岡技術科学大学
工学部

環境社会基盤工学課程 学部3年

今回は古河産機システムズ株式会社小山工場にご招待いただき、まことにありがとうございます。

私は橋梁の建設をはじめとした土木に関連する研究・就職をしたいと考えており、それに関連する古河産機システムズ様に強い興味がありました。今回は小山工場でSICON や各種ポンプ機など、土木事業の現場を支える最先端の技術の一端をご紹介いただきました。その中でも特に、大規模橋梁で使用される箱桁の出荷前における様子を拝見できたことが最も印象に残っております。巨大な構造物でありながら、生じる誤差を数ミリという厳しい規制範囲に抑える技術に感銘を受けました。

また、実際に社員の皆様が働いている姿を拝見し、安全で早く正確な施工のために様々な努力をされていることが強く伝わってきました。私がいただいている奨学金はそうした方々の成果からいただいていることを改めて意識いたしました。

今回学んだ内容を、学業や研究活動に役立てるとともに、就職後も意識し続けてまいりたいと考えております。

早稲田大学
先進理工学部3年

先日は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。私が古河産機システム工場でもっと心に残ったことは、お客様からのニーズを的確に捉えた上で、設計から生産までの一連の流れを担っているということです。普段当たり前前に利用している建物の基盤や道路など社会インフラの安全性を、古河産機システムの技術力が支えていることに非常に感動しました。この技術力が信頼性を高めているのだと感じました。また、工場内での安全性に対する真剣な取り組みが見られたことも魅力的でした。厳格な安全規則と設備の保守が、労働者の健康と安全を確保しています。これは、組織が社会的責任を果たし、労働環境への配慮が感じられました。今回の工場見学を通じて、製造業の裏側を見ることができました。製品が

どのように作られ、品質が管理され、労働者への配慮が行われているかを学び、深く感動しました。大学で学んでいる数学や物理の知識を活かし、人々の生活の基盤を支えるメーカー職につくという今後のキャリアの可能性の1つに魅力を感じるようになりました。

東京都立大学大学院
システムデザイン研究科
機械システム工学域
博士2年

古河産機システムズ株式会社の工場見学での第1の印象は、「広い」でした。これは工場の「施設および設備」に対する感想です。私はこれまでに、いくつかの企業を見学する機会がありました。業種は多種多様で一概に比較できることではありませんが、中には粉砕機や堅牢なポンプを手掛ける中堅企業もありました。企業の規模も関係してはいると思いますが、何より扱っている製品のスケールが決定的ではないか、と思いました。人が一人、入り込めるほどの寸法を基準とした産業機械の製作には、広い空間の必要性を頭では理解していましたが、実際に目で見て強く印象に残りました。第2の印象は「技術力」です。また比較になってしまいますが、最近の企業方針本格的な金属加工等の製作は行わず、アセンブリ工程を主とした工場が増えていると聞いています。自社では工作機械をはじめとする加工技術を保有せず、他社に外注するというものです。私個人としてはものづくりの工程を一貫して行わない(経済効率優先)方針に一定の理解はしているものの、今回の見学では、高専や大学では見たことがないほど巨大な工作機械を目にしました。また、案内してくださった社員さんから「独自に厳しい基準を以って寸分の狂いもない製品を作っている」という話を聞き、強く感銘を受けました。社会を支える古河グループの中でも、目立たずともインフラの根底を担う、まさに縁の下の力持ちである(と私は感じた)古河産機システムズ株式会社の見学ができ、非常に有意義でした。心より感謝申し上げます。

早稲田大学
創造理工学研究科
地球・環境資源理工学専攻
修士1年

東京工業大学
物質理工学院材料系
修士1年

私は古河産機システムズ株式会社の小山工場見学会に参加する機会を得ました。この貴重な体験を通じて、工場の印象、心に残ること、そして私自身に対する意味について報告させていただきます。

まず、小山工場の印象について述べさせていただきます。工場内は驚くほど整然としており、高度な生産プロセスと精密な設備の印象を感じました。作業員の皆さんは非常にプロフェッショナルで、安全に配慮しながら効率的に作業を進めている様子が感銘を受けました。また、工場内の清潔さと秩序感にも感心しました。これらの要素が組み合わせ、品質と生産性の向上に寄与していることが明らかでした。

特に心に残ったのは、技術革新と環境への取り組みです。小山工場では、最新のテクノロジーを駆使して製品を生産しており、これが高品質で競争力のある製品を提供する一因だと感じました。さらに、環境に配慮し、持続可能性を重要視している姿勢に感銘を受けました。廃棄物の削減や再利用の取り組み、省エネルギーの設備など、環境への貢献について学びました。

この見学会は私にとって大きな意味を持ちました。まず、実際の工場での作業を見学することで、理論だけでは得られない実践的な知識を獲得できました。また、古河産機システムズ株式会社の姿勢から学んだことは、将来の職業生活においても価値あるものです。技術革新、品質へのコミットメント、環境への配慮など、これらの価値観は私のキャリアにおいても指針となります。

最後に、この見学会への参加を可能にいただいた皆様に心から感謝申し上げます。この貴重な経験は私の人生において忘れられないものとなり、将来の成長に寄与することだと思えます。

お世話になっております。先日は、古河産機システムズ株式会社小山工場の見学会に参加させていただき、誠にありがとうございました。この貴重な機会を与えていただき、大変感謝しております。

工場見学では、ベルトコンベアのデモ機を間近で見学し、その革新的なシステムに触れることができました。特に、東日本大地震で被害を受けた地域の復興に寄与するために使用されたベルトコンベアが、工期の大幅な削減に成功した実績には非常に驚きました。

また、古河産機システムズは設計から製造、施工まで一貫して自社で行っていることには驚きました。この一貫性が会社の強みであり、品質管理や効率性の向上に繋がっていることを理解しました。高架橋の実物を工場で精密に仕上げ、現場での組み立てを行うプロセスも非常に興味深かったです。現場での修正が困難なため、工場ですべてを確認するアプローチが、現場の知恵と経験が最大限に活かされている印象を受けました。

さらに、見学中にトラックの荷台に積載されているクレーンのほとんどが古河産機システムズの商品であることを初めて知り驚きました。

今回の見学会は非常に有益で、新たな知識や洞察を得る貴重な機会となりました。古河記念基金様のご支援に感謝し、今回の経験を大いに活かしていく所存でございます。

京都大学大学院
工学研究科 社会基盤工学専攻
修士 1 回生

小山工場では、様々な場面で活躍する産業機械についてご説明いただき、最先端の技術に触れることができました。特に印象に残ったのは、密閉式吊下げ型コンベヤ SICON です。従来の平ベルトコンベヤでは直線的な移動しかできず、別のコンベヤへの乗り換えが必要ですが、この SICON は自在な方向に進路を変えることができ、とても画期的な製品だと感じました。また、模型も間近で見ることができ、構造や仕組みも大変分かりやすかったです。他にも、現場における課題点の解決や効率化に向けて、新しい技術を取り入れた製品を数多く紹介していただきました。私の専攻は土木であり、機械系についてはあまり触れたことがなかったのですが、インフラ事業で活用される製品も非常に多く、大変勉強になりました。

また、午前中には巴波川の蔵の街遊覧船を体験させていただきました。私は関西出身であるので、栃木県の伝統や歴史に触れることができ、とても新鮮でした。1 日を通して、奨学生の皆様ともそれぞれの研究や出身地についての話などをして、交流を深めることができました。この度はこのような機会を設けてくださり、ありがとうございました。

長岡技術科学大学
工学部
物質材料工学課程 3年

この度はお忙しい中、このような見学会を開催して頂きありがとうございました。今回、見学させて頂いた古河産機システムズ株式会社の小山工場は偶然にも私の兄が働いている工場だったため、兄が普段どのような場所で働いているかを知ることができ、とても興味深かったです。

今回の見学会は私の専門とは異なる分野の工場でしたが、多くの学びがあった見学会でした。見学会ではポンプ、橋梁部品、ベルトコンベア、キャリアカーなどを見学させていただきました。私はポンプといえば液体を運搬す

るものしかイメージがなかったため、土砂やセメントを運搬できるものがあること知り驚きました。また、橋梁部品では一つ一つが数メートルはある部品を一度組んで検査することを教えて頂き、検査の重要性をより一層理解しました。他にも、ベルトコンベアやキャリアカーなどで顧客の要望を理解し、それを解決するような設計や施工をするということの大変さ、その凄さを知りました。

また、見学会には普段関わることがない他大学、他学科、他学年の学生が多くいたため、話を聞くだけでこれまで経験したことのない話を聞くことができ、刺激に満ちた見学会でした。今回の経験を今後の学校生活や研究に活かしていきたいと思います。

山形大学大学院
理工学研究科
化学・バイオ工学専攻
修士 1 年

この度は、工場見学という貴重な機会をいただき、誠にありがとうございます。普段、見学する機会の無い貴グループの工場を見学することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

現場では、多くの社員の方に会社についてや業務内容、製品に関して説明していただき、詳しく知ることができました。また、特に身近に見かける製品に関する説明やその製造工程に関しても見学させていただき、その工程や大変さに驚きました。他にも、社員の方々の、やりがいや苦勞についてもお話いただき、働くことの大変さや楽しさについて伺うこともできました。皆様のお話を伺う中で、会社や製品に対する熱い想いを感じ、私も皆様のように仕事をしたいと思いました。

また、同じ奨学生と共に工場見学をすることで、交流を深め、より知識が深まり大変楽しく見学することができました。

重ね重ねになりますが、この度は貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。今後とも宜しく御願い申し上げます。

東北大学大学院
工学研究科 土木工学専攻
修士2年

古河産機システムズの工場見学会に参加して、本当に充実した時間を過ごしました。まず、ランチやバス移動中に、同じ奨学生と交流できたことは素晴らしかったです。新しい友人との交流を通じて、貴重な情報や経験を共有できたことが、この見学会の一部としてとても有意義でした。

大学の座学では学べない現実世界の実物を目にする機会があったことも、非常に印象的でした。工場内でベルトコンベアが土砂の運搬に使われていたり、鋼橋が製造されていたりする様子を見ることのできたことは、私の

土木工学専攻にとって非常にためになるものでした。理論だけでなく、実際の作業現場でのプロセスを目にすることで、学びが深まりました。

そして、見学会のハイライトの一つであった遊覧船の乗車も楽しかったです。小山の周辺環境を水路から見ることで、過去に栄えた産業と自然環境の調和についての洞察を得ることができました。

総じて、古河産機システムズの工場見学会は、学業だけでなく人間関係の構築や実践的な学びを得る絶好の機会であり、今後の学びやキャリアに大いに貢献することを期待しています。

事務局から

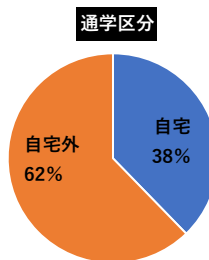
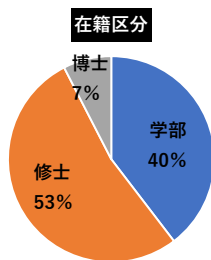
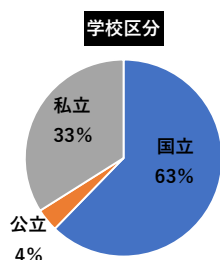
2023年度奨学生アンケート結果のお知らせ

事務局では、翌年度の新規奨学生採用計画の参考とすることを兼ねて、毎年、奨学生へのアンケートを行っています。今年度のアンケート(10月1日～10月16日実施:対象53名)結果をお知らせいたします。

1. 2023年度奨学生の概要

期初は54名でしたが、外国人留学生1名が9月に卒業し、現在は53名。

学年	日本人				外国人	合計	通学	
	国立	公立	私立	小計			自宅	自宅外
学部	2	1		2		3	1	2
	3	5	1	6		12	6	6
	4	3		2		5	2	3
	5	1				1		1
	6					0		
修士	1	11		2	2	15	5	10
	2	8	1	3	1	13	6	7
博士	1	3				3		3
	2					0		
	3	1				1		1
合計	33	2	15	50	3	53	20	33



2. アンケート結果(日本人50名、外国人3名)

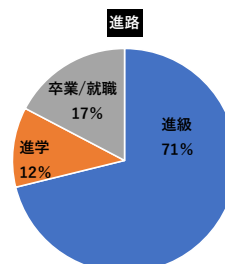
(1) 来年度の進路について

卒業→就職希望は 9名 全員が内定済み。

進級・進学者43名 全員が支給継続を希望。1名は進路未定。

	日本人				外国人				合計
	進級	進学	卒業/就職	(内定)	進級	進学	卒業/就職	(内定)	
学部*	18	2							20
修士	14	4	7	7	2		1	1	28
博士	3		1	1					4
合計	35	6	8	8	2	0	1	1	52

* 学部1名は進路未定



(2) 就職内定先

ぺんてる(株)、MC Digital(株)、富士通(株)、日本無線(株)、鹿島建設(株)、三菱電機(株)、大日本印刷(株)、丸紅(株)

(3) インターンシップについて

	経験		参加時期 (重複あり)			今後の興味 (除く内定者)	
	有	無	夏季	春季	その他	有	無
学部	7	9	6	1	1	16	4
修士	10	5	10			17	3
博士	2	1	1	1	1	2	1
合計	19	15	17	2	2	35	8

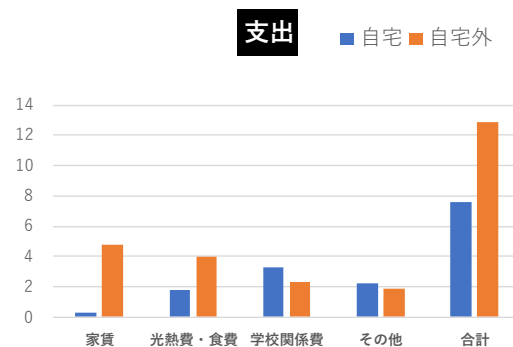
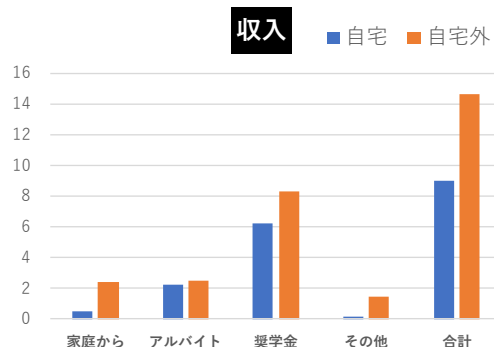
参加回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	合計
人数	6	6	2	3	1	1	19

経験者推移: 2014年度 11名、2015年度 15名、2016年度 17名、2017年度 22名、2018年度 28名、
2019年度 28名、2020年度 29名、2021年度 27名、2022年度 25名

(4) 生計について(奨学生1ヶ月の平均金額 単位:円)

収入	自宅	自宅外
家庭から	4,526	24,240
アルバイト	21,906	24,582
奨学金	61,786	82,712
その他	1,578	14,727
合計	89,797	146,261

支出	自宅	自宅外
家賃	2,632	47,974
光熱費・食費	17,513	39,489
学校関係費	33,045	22,689
その他	22,313	18,965
合計	75,502	129,118



(5) 将来の計画(目標、希望等)

研究職: 20名(重複:「その他」1名)

- ・文具メーカーの研究開発職員として、より快適・便利な筆記具を生み出したい。
- ・神経科学の研究を通じて、脳がどのように機能しているのか具体的に解明する。人工知能や医療、ウェアラブルデバイス等の発展に繋がるような基礎研究を目指す。
- ・量子技術の中核とし、電子回路や機械学習などの知識を組み合わせることによって、電子デバイス検査などに役立てられるセンサの開発が将来的にできればと考えています。
- ・高い運動能力を持つ人型ロボットの開発
- ・IoT 技術で日本の社会問題を解決したい

- ・現在はプラスチックや塗料など幅広い業界で人々の役に立つモノづくりに貢献したいと考えています
- ・航空宇宙分野において、輸送手段の省エネルギー化に貢献したいです。具体的には、現在研究している圧縮性混相流の数値計算手法を実問題に適用することで、当該現象を解明し、流体現象の制御手法の確立を実現したいです。
- ・製薬企業の研究職や開発職に就き、中枢神経系に関する新薬の開発に携わりたいと考えています。
- ・バイオエンジニアリングをはじめ、機械工学が適用できる様々な分野にて、現象のモデリングや数値解析に取り組むことで課題を解決し、社会へ貢献したい。展望としては企業との共同研究にも取り組みたい。
- ・学芸員やサイエンスコミュニケーターなどになり、自分の専門非専門関わらず日々研究されてきていることや科学の面白さについて一般の人達に伝える”通訳”のような職業につけたらと考えている。
- ・自動車に使われるモーター
- ・アカデミックに進んで有機金属化学について研究を進めたい

- ・製品開発に携わりたいと考えております。
- ・将来的に、行動神経科学分野でアカデミアに残り研究を続けたいと思います。博士課程卒業後は、海外でポスドクとして研究をしたいと考えています。あまり積極的に公表してきませんでしたが、聴覚に障害を持ち、支援を受けながら学業をしています。障害者かつ女性であるというマイノリティでありながら、第一線で研究をする研究者を目指すことで、アカデミアのダイバーシティを広げ、研究の裾野を拡張することに貢献したいです。
- ・AI による画像認識と化学の融合、超分子化学を活用した製品の開発
- ・証券会社で経済の研究をしてアカデミアに貢献したい。
- ・分子生物学で医療に貢献する。
- ・現在行っているケモインフォマティクス分野で AI による予測などで代理に研究が行えるモデルが作りたい。
- ・企業の研究職に就いて、材料の観点から社会の発展に貢献したい。
- ・私は博士課程に進学し、現在のコンピュータビジョン分野の理解を深めたいと思っています。大学の先生になるために努力しています。

エンジニア:22名

- ・建築・土木産業に携わり、特に橋梁の経済性・耐震性を向上させる研究を行いたい。海外でまだ土木産業が発展していない地域にも行き、建設に携わりたい。
- ・建設分野の DX 推進に携わりたいと考えております。
- ・生産技術職に就き、半導体の製造に貢献したいと考えています。
- ・大学で全固体電池の研究を行い、電気自動車のバッテリーを作るような会社に就職したいと考えています。
- ・環境にやさしい機械を設計できるエンジニアになりたいと考えています。
- ・エンジニアとして、安全かつ高速に使える便利なサービスの提供をサポートしたい
- ・都市開発に携わり、暮らしやすさと経済的な効率を両立した環境づくりに貢献したい。

- ・研究を通して橋梁の疲労・腐食のメカニズムやそれらの対策について学んでいるため、将来は新設橋梁を長寿命化できるような設計を行えるようになりたい。
- ・学科で学んだことからエレキ系の職種、または研究している電池系の職種を希望しています。
- ・環境分野 BtoG を相手にできるプラント企業に入りジェネラリストとして働きたい
- ・将来は建築分野におけるエンジニアとして、日本の大型建築に携わり、災害、人災から守れる建物を建てる。
- ・現在は、半導体業界に携わり社会に広く貢献したいと考えている。
- ・空飛ぶクルマに搭載を想定している偏波制御アンテナの研究からさらに視野を広げ、培った知識を基に通信分野に幅広く関わり将来の通信インフラを支える業種に就きたいと考えている

- ・IT 分野で貢献していきたいと考えている。
- ・生きていくために欠かせない食料、水、環境においてモノづくりの分野で関わっていきたいと考えている
- ・高速道路の建設・維持管理に携わりたい
- ・重工業メーカーに就職し、航空機エンジンの設計に携わるエンジニアになりたいと考えています。
- ・自分は卒業後 IT 分野に進めていく予定ですが、他の領域にも情報学的手法により事業を効率化させることができると考えるため、技術進化が著しく研究や生活を大

- きく変えてきた IT を通じて、社会をサポートしたいと考えています。
- ・エンジニアになるためには、自己学習能力やコミュニケーション能力も重要だと思います。自己学習能力を高めるためには、積極的に情報収集を行い、新しい技術やトレンドについて学ぶことも大切です。コミュニケーション能力を高めるためには、チーム開発やプロジェクトマネジメントの経験を積むつもりです。

教員(除く大学):2名(重複:「その他」1名)

- ・中高の教員となり、教育分野で科学の面白さを伝えたい。もしくは、企業で、基礎研究を行う技術者分野で働き、人々の健康を支えたい。
- ・中高の数学の教員。今のところ高校教師を希望。

その他:10名(重複:2名)

- ・薬剤師として臨床の場で活躍したい
- ・大学卒業および薬剤師国家試験合格後、認定薬剤師の教育や研修を積極的に行っている高度医療病院に就職し、臨床経験および研修を経て認定薬剤師取得を目指す。将来はその資格と経験を活かして、より専門的な医療と信頼性を以って、薬局にて地域医療や訪問医療を通して地域社会に貢献したいと考えている。
- ・学部卒ではなく大学院に進級するため、まだ詳しくは考えられていませんが地元の県庁に就職できたらなと思っています。研究については台風や爆弾低気圧をテーマにしており、少しでも社会に役立つことができると考えています。
- ・簡単に言えば、人もそれ以外の生物もできるだけ幸せで入れるような社会をアートを用いて実現していきたいと思っている。
- ・IT 分野・コンサル
- ・IT を用いて、企業や人々の手伝いをしたいと考えています。
- ・金属分野
- ・航空宇宙系の分野に貢献したいと考えています。現在、航空会社のインターンに応募し、2 次選考の結果待ちです。インターンの後に早期選考があります。選考に通過できれば大学卒業後に就職したいと考えておりますが、非常に倍率が高く、また自身の研究したい分野もあり、大学院進学のための勉強も並行して進めています。

将来の活躍の場(重複:「企業」と「その他」1名)

○大学:8名 ○企業:37名 ○公務員:2名 ○自営/起業:1名 ○その他:5名

(6)「将来の計画」の実現のために是非やりたいこと(学生生活で)

語学力の向上

- ・語学力の向上(主に英語、加えて中国語など新たな言語の習得も検討中です)
- ・英語力の向上
- ・英語コミュニケーションの修練をする。
- ・英会話の練習
- ・多くの企業が海外に拠点を置いており、海外へ行く機会があると考えられるので TOEIC700 点をとりたいです。
- ・英語の勉強に取り組みたいです。英語論文を読んで理解する効率を上げることで、情報を取り入れる能力を向上させたいです。
- ・オンラインスクールの定期的な英会話レッスンによる語学力向上
- ・TOEIC スコアの向上
- ・英語
- ・海外留学
- ・英語の勉強
- ・海外大学への留学
- ・海外へ行き、実際に英語を使うことで自分の英語力を確かめる。
- ・英会話講座や語学留学を通して英語力の強化したい
- ・英語でコミュニケーションをとれるようになる
- ・毎日英語で会話する
- ・建築とは関係がないが、英語をよりもっと勉強したい。海外の人との建築感の違いを感じたい。
- ・英語を学び、海外の文献ももっと読めるようにする
- ・英語の学習
- ・来年開催予定である国際学会に向けた英会話力、語学力の向上
- ・TOEIC の対策をして実際に受験することで英語力の向上に努める
- ・英語コミュニケーション力の向上
- ・英語学習
- ・英検の取得
- ・語学学習(英会話)
- ・TOEIC L&R 900 点
- ・読書やシャドーイングを通して、日本語と英語のレベルを向上させます。

インターンシップ・就職関連

- ・インターンシップに参加して企業の社風等を知りたい。(夏インターンは全て落ちてしまったので、秋・冬のインターンで挽回したいと思います。)
- ・学部ではまだ一度も行ったことのないインターンに行ってみる
- ・積極的なインターンシップ参加によるギャップの確認
- ・教員採用・企業の説明会に積極的に参加する
- ・できる限りいろいろな博物館に行く。もし参加できる所があれば博物館のインターンシップに参加する。
- ・特に全固体電池を用いた電気自動車の開発を行っているメーカーにインターンシップに行く。
- ・就職活動
- ・インターンシップにおいて企業・業界理解を深める
- ・様々なインターンシップに参加して自分の希望と適性が重なる業種を探したい
- ・インターンシップへの参加
- ・インターンシップへの参加
- ・将来就職したいと考えている企業の調査
- ・航空系のインターンに参加する
- ・企業研究、選考対策
- ・重工業企業のインターンシップ参加

専攻分野の勉強関係

- ・雑誌や医療系メディアなどを通して現代の医療が抱える問題を知り、あらゆる視点から是非や解決策、関わる業種について考えてみる。
- ・地域を限定せず、あらゆる病院機関を調べ、何に特化しているのかなどの情報を得る。
- ・ドローン製作に取り組みたいです。飛行物体を実際に製作することで生じる課題や理論とのずれを体感することで、実践的な課題解決能力を身につけたいです。
- ・査読付き学術誌への論文投稿
- ・建設分野の DX 事情の調査
- ・たくさんの植物に触れて、できる限りその種を覚える
- ・研究室長として、研究室の学生をまとめる。
- ・日々の学習
- ・座学だけでなく実際の橋梁を見に行き、疲労・腐食がどのような箇所で起きているのか確かめたい
- ・実際に足を運ぶことで災害都市(塩釜)などの復興計画等を肌で感じ、地元の人と話してみたい。
- ・金属資源分野の学習
- ・現在やっている言語処理についてより知見を深める。特に最先端モデルについて知りたい。
- ・前提条件となる数学についてより知見を深める。
- ・航空機エンジン工場の視察

専攻分野以外の勉強・自己啓発

- ・社会情勢に関する情報を積極的に収集する。
- ・PC スキルの重要性を認識したので、一度 PC を組み立てて各パーツの役割を学習してみたいです。
- ・教員免許を取得しているので、見識を広げ、チームワーク力を教育関係のイベントには参加したいです
- ・研究活動などを通じて様々な技術に触れる
- ・様々な媒体を活用して最新の情報を知る
- ・海外旅行や学会などでの国際交流を通じて広い視点を手に入れる
- ・新聞やニュースを見る習慣をつけ、世間が何を求めているかを把握する。
- ・建設分野外(他分野)の DX 事情の調査
- ・専門分野とは違うが、半導体関係の勉強を行う。
- ・生成系 AI の活用
- ・自治体や非営利組織の活動への参加
- ・企業や社会の理解を深める
- ・多くの土地の特色を知る
- ・様々な企業の製品を調査し、その分野についての知見を高める
- ・学内外におけるダイバーシティ&インクルージョンの活動に貢献すること。
- ・データサイエンスの勉強
- ・金融の知識をつける。
- ・自分のお金で取引をしてみる。
- ・機械学習手法に慣れておく。
- ・会計知識の習得
- ・バイオのディープテックについて詳しくなる。
- ・AI などサイクルの速い分野で事業を行い経験を積む。
- ・画像認識に関する技術を学ぶ。特に画像処理や内部の NN などについて詳しく仕組みを知りたい。
- ・教養を身につける
- ・日本語を真剣に勉強して行きます。
- ・協力するという意識を養うことです

部活動 サークル活動

- ・4 年に進級し、今まで入っていたサークルを卒業したので、新たに社会人サークルに入って体を動かす
- ・日本酒研究サークルの部長として、新潟の日本酒の魅力をさらに発信していく
- ・サークル・バイトなど積極的な参加
- ・文化祭実行委員の企画長としての活動
- ・サークルの部長の経験を通じてリーダーシップを培う。

プログラミングの修得・開発

- ・競技プログラミングを通じて、様々なアルゴリズムの学習と実装を継続する。
- ・流体解析のソフトウェア開発に取り組みたいです。これを通して、数値計算の理論を理解する能力と実際にソフトウェアを作って解く能力を身につけたいです。
- ・プログラミングの勉強、特に Java
- ・プログラミングスキルを身につける。
- ・データ分析のソフトウェアを学習します

読 書

- ・幅広い知識を得るために読書をする
- ・月に 3 冊は人間の文化および文明、社会構造について理解するための関連書籍について読み、それぞれについて内容をまとめたメモを残して SNS を通じてアウトプットを行う。また、それらに関連しない書籍も月に最低 1 冊は読む
- ・見識を広めるために科学に関する書籍を読む
- ・読書

運動 体力づくり 健康

- ・ジムでの定期的な運動(健康と適度なリフレッシュのため。)
- ・健康を維持するために、運動を積極的に取り入れる。
- ・食生活の改善
- ・運動不足を解消し、体力強化を行う
- ・現在行っているランニングから拡張してフルマラソンの参加を行いサブ4を目指し体力向上を図る
- ・体力の向上・維持のために週 4 日以上は外で体を動かす時間を設ける
- ・健康的に生活する
- ・体を動かす
- ・定期的に運動して、自分の健康を保ちます。

コミュニケーション能力強化

- ・アルバイト(家電量販店でのアルバイトを通じたコミュニケーション力や適応力の向上。)
- ・先月 15 年ぶりに海外へ行ったので、近いうちに再度海外へ出て外国の方とコミュニケーションをとりたいです。
- ・研究室生活やアルバイトを通していろいろな人とコミュニケーションをとり、自分の考えをわかりやすく言語化できる力を身に付けたいです。
- ・コミュニケーション能力を高め、仕事を円滑に進められるようにする。
- ・小売業のアルバイトでコミュニケーション能力を鍛える。
- ・研究や就活の仲間を増やし、協力し合う
- ・大学や研究室の活動に積極的に参加し、自分の社交スキルとリーダーシップを向上させます。

資 格

- ・危険物取扱者の資格勉強
- ・無線系の資格を取り、知識を深める。
- ・資格取得
- ・数検取得
- ・技術力を示すための資格(技術士)の資格をとりたい
- ・資格の取得
- ・IT パスポート
- ・基本情報技術者試験

旅 行

- ・学生のうちにたくさん旅行に行っておく
- ・旅行に行き様々なことに興味を持てるようになりたい
- ・海外旅行に行って文化の違いを学びたい。
- ・国内外の様々な場所へ旅行し、それぞれの土地の特色を実際に見て回る。
- ・世界の環境問題を肌で感じたいため、途上国を訪れたい
- ・コロナ中や金銭的理由で叶わなかったが、実際に大規模建築を自分の目で見てみたい。
- ・47 都道府県すべて一度以上訪問する

アルバイト

- ・アルバイトで接客に慣れる
- ・私は最近アルバイトを始めたので接客などを通して言葉使いやマナーなどを社会人になる前にしっかりと学びたいと考えています。
- ・退職するまで塾講師のアルバイトを惰性ではなく意志を持って取り組む。
- ・飲食店のバイトリーダーとして、作業の効率化となる提案を積極的に行う。
- ・個別塾のアルバイト
- ・アルバイトを通じた社会経験
- ・アルバイト(2名)

学会参加

- ・ロボティクス分野のトップ国際学会 (IROS) での発表(済)
- ・日本病院薬剤師会などの学術発表会や説明会に参加する。
- ・国際学会で発表する。(海外の研究者と交流する)
- ・学会への参加
- ・電気情報通信学会における学会発表を通して新しい視点の研究や他大学の先生方の知見を取り入れ行っている研究分野だけでなく異なる分野における知識を深める
- ・国際学会への参加などで、海外の研究者とのコネクションを作ること。

趣 味

- ・趣味の小型の脚ロボットの製作
- ・最近電子ピアノを買ったので、弾ける曲を増やしたい
- ・アート作品を多く残す。社会の現状を批判し、世界の現状について考えるきっかけにしてほしいと思う作品
- と自分が単純に作りたい作品を卒業までに合計 10 作品は残していきたい。
- ・リフレッシュとしての趣味を充実させる

人 脈 交 流

- ・神経科学のみならず、様々な分野の方々と交流し、多様な価値観に触れ見識を深める。
- ・学会懇親会や異分野研究交流会にて多くの方と交流を図る
- ・多くの場所を訪れ、多くの人間と知り合う。特に海外などの日本と全くカルチャーが違う場所に赴き、現地人の友人を滞在期間にもよるが 5 人はつくり、文化と環境の理解に役立てる。
- ・様々な人と出会う
- ・学内の留学生との交流の機会に積極的に参加すること。
- ・仲間探し。

そ の 他

- ・独立した生活に向けて、自炊などの家事やその他一人暮らしに必要なことについて学ぶ。
- ・学生ボランティアで中学校の授業の補助
- ・深層学習
- ・色々な経験を積む
- ・貯金

3. その他自由記述

- ・今年の5月に就職活動を終え、来春からぺんてる株式会社に就職することが決まりました。残り少ない学生生活を悔いのないよう過ごしていきたい一方で、研究活動が忙しく、アルバイトによる収入を十分に得られていない状況です。このような生活の中で、古河記念基金様からの奨学金が、非常にありがたい存在となっております。奨学金があるおかげで、研究活動も、息抜きとしての活動も満足するまで打ち込むことができいております。本当にありがとうございます。来年の春まで、何卒よろしくお願い申し上げます。
- ・引き続き学業と研究に邁進してまいります。皆様今後ともどうぞよろしくお願いいいたします。
- ・いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願いいいたします。
- ・いつも大変お世話になっております。この場をお借りして簡単に近況報告をさせて頂ければと思います。つい先日アメリカのデトロイトでロボティクス分野のトップ国際学会である IROS2023 に参加し『ZMP feedback balance control of humanoid in response to ground acceleration』という題で、動く足場における人型ロボット(humanoid)のバランス制御について発表しました。学会では口頭発表とポスター発表の両方を行うのですが、特にポスター発表では90分も英語で質疑応答をしなければなりません。初アメリカ、初国際学会、英語が苦手ということもあり不安で仕方なかったのですが、やってみると意外と話すことが出来て、楽しいと感じることができました。また、予想以上に自分の研究に興味を持ってもらえたことも嬉しかったです。
- ・今年度で最後となりますが、今まで奨学金を支給してくださり誠にありがとうございました。
- ・お世話になっております。日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが古河記念基金の皆様はいかがお過ごしでしょうか。私は、おかげさまで4年生に進級できてから半年が過ぎましたが、いよいよ来年から始まる臨床実習のための調剤実習と2~3か月後に控えている薬学共用試験の試験勉強を同時に進めているため、日々得るものを取りこぼさないよう必死になって取り組んでおります。時が止まるようお願いするような早く進んですべて終わってほしいような複雑な心境ではありますが、まさに薬学生らしい大学生活で充実を感じております。受給いただいている奨学金は主に臨床実習に備えた準備に使っております。いつもありがとうございます。こうして勉強に集中できる環境と生活を支えてくださる方々に感謝を忘れず、今後も頑張ろうと思います。
- ・9月下旬に流体力学会年会に参加し、これまでの研究成果を無事発表することができました。今後は研究成果を論文化する予定です。今後ともご支援をよろしくお願いいいたします。
- ・まだ時期が確定しているわけではないのですが(11月中旬以降)、共同研究先の富山大学の研究室の方に長期間、出向という形で滞在することになると思います。
- ・今年度は現在までに国際学会1件と国内2件の発表を行い、また10月から12月にかけて月に1度学会発表があります(計3件、内1件は国際学会)。厳しい家計状況の中でも、他の同年次学生に引けを取らない成果を出せているのは、古河記念基金のご支援のおかげです。心より感謝いたします。研究者への道を志し、来年度より博士後期課程へ進学いたします。現在取り組んでいる研究も年内には論文投稿を完了したいと考え

ております。引き続き学問に励みますので、博士後期課程でも何卒よろしくお願い申し上げます。

- ・私が所属する日本酒サークルで、今年度は副部長として様々な経験を積むことができました。コロナ禍で停止されていたイベントを復活させる最中であり、手探りながらも手ごたえを感じています。来年は部長として、今年度の反省を踏まえながらより良いサークル運営を目指したいと思っております。
- ・貴財団に経済的援助を毎月していただいているおかげで、アルバイトの量が減り大学院の研究に充てる時間を増やすことができました。深く感謝しております。今年度は就職先から内定が出ており、社会に出てからの目標を立てて研究をすることができております。
- ・夏休み期間中には、研究活動と並行し就職活動に取り組んでいました。研究活動においては、4月から行っていた実験結果から次の段階としてシングルセル解析を依頼することができました。学部とは異なる研究内容であることから、4月当初は実験手順のミスなどがあり、戸惑うことがありましたが、最近ようやくペースを掴むことができました。
- ・現在、学部を卒業後そのまま大学院へ進学しようと考えております。現在の予定ですと2025年度に大学院に入学することとなるのですが、先日大学から2025年4月以降大学院課程入学者の授業料が従来の20%増額になると発表がありました。家計を支えている父も現在63歳であり嘱託雇用の契約が切れる65歳に近づいております。雇用契約を継続できる可能性もありますが、現段階では未知数です。そのため、大学院修士課程への進学後も貴基金のご支援をいただけますと幸甚に存じます。
- ・2年間のご支援ありがとうございます。就職後、このご恩を忘れず、社会に貢献していきたいと思っております。
- ・昨年度末に寮を退寮し、今年度から大学近くのアパートに引っ越しました。それにより、家賃が6倍以上になり、また最近の光熱費の高騰により家計がかなり苦しくなっています。そのため今年度より、アルバイトを増やして

いますが、今学期から研究室に配属され、アルバイトの時間の確保が厳しくなりそうです。

- ・大学院進学のため、奨学金を貯金しています。
- ・いつもありがとうございます。
- ・今後どのように生きていくのかゆっくり考えられる時間は今しかないと考えているので、しっかり自分と向き合って今後のことを考えていきたいと思っております。
- ・奨学金のおかげで、学業に集中できています。これからも、奨学生としての自覚を持ちつつ、学業に励みたいと考えております。
- ・いつもありがとうございます。
- ・ご支援いただき誠にありがとうございます。後期から本格的に卒研生の研究活動に参加しています。わからないことが沢山ありますが、これから精一杯頑張っていきたいと思っております。ご支援のおかげで、少しでも時間を勉強に費やすことができます。重ねて感謝申し上げます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。
- ・いつも大変お世話になっております。古河記念基金様を始め、周りの支えてくださる教授、研究室の方々、家族、友人たちに対する感謝の気持ちを日々忘れずに、研究・就職活動に励みたいと思っております。
- ・いつもありがとうございます。
- ・今年度もご支援いただきまして、誠にありがとうございます。おかげさまで日々研究に邁進することができております。来年は博士2年になり、研究室内では一番シニアの学生になる予定なので、身が引き締まる思いです。現在行なっている研究をまとめ、国際学会での発表や国際学術誌への投稿をすることを目標に日々研究活動に励んでおります。私が研究室に配属されて以降ずっとコロナ禍だったので、海外の研究者と交流する機会はほとんどありませんでしたが、ここ数ヶ月海外からの研究者との交流が増えました。英語で伝えたいことを正確に伝え、ディスカッションするスキルがまだ足りないと痛感し、最近では研究室にいらっしゃる英語ネイティブの留学生の先輩と週に1回英語でディスカッション

をしていただいております。今後とも、研究のスキルを身につけるとともに、英語でのディスカッションのスキルを伸ばしていきたいと考えています。

- ・無事に内定先が決まり、残るは博士論文だけとなりました。体を壊さない程度に無理をしながら頑張ります。
- ・現在、航空会社の自社養成パイロットのインターンに応募し、2次選考の結果待ちです。非常に倍率が高いですが、できる限りの対策をして臨みたいと考えております。3次試験では面接があり、そこに通過するとインターンに参加できるので、まずは面接の対策や自己分析を行います。また、5次試験で英会話試験があり、英検で好成績を残すと試験が免除になるため、夏休みは英検対策、特に英会話のスキルアップを目指して勉強し

ていました。先日も英検を受け、現在結果待ちです。1年前の自分は毎日の生活に精一杯で、英検などをわざわざお金をかけて受ける余裕がありませんでしたが、今年から貴基金の奨学金のご支援をいただいたこともあり、少し生活に余裕ができ、勉強にもさらに意欲的に取り組めるようになりました。大変感謝しております。引き続き日々勉学に励みたいと思います。

- ・いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。収入が安定したため、今年度からはアルバイトを辞め、学業に専念することができています。
- ・これからも引き続きお世話になります。
- ・来年も引き続き奨学金をいただけることを願っています。私は自分の夢に向かって最善を尽くします。

公益財団法人 古河記念基金
東京都千代田区大手町 2-6-4
常盤橋タワー(古河三水会内)
電話:03-6262-0804
FAX:03-6262-0806